

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 10 月 21 日 (日)

試合時間：15：40～ CC：甲木義徳 FU：柿原実 SU：野田宏樹

福岡大学	○ 87	24	—1st—	19	● 73	東海大学九州
		19	—2nd—	20		
		20	—3rd—	17		
		24	—4th—	17		

第1ピリオド

試合開始とともに、#46 今林のシュートが立て続けに決まり勢いに乗る福岡大。対する東海大は速いパス回しから#7 石橋、#21 松井の3Pシュートで得点を重ね一進一退の攻防が続く。両チーム、ドライブ中心の攻めるオフェンスを展開し福岡大は#23 森本、一方東海大は#6 石井がシュートを確実に決める。両者譲らない、激しい攻防は続き24-19 福岡大一步リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド

東海大#14 権藤は積極的にゴールに向かい、残り7:28、2本のフリースローを確実に決めついに同点に追いつく。一方福岡大は中盤#14 村上、#17 丹の3Pシュートが立て続けに決まり、流れを掴まれたくない東海大残り5:55 タイムアウトを請求。タイムアウト明け#6 石井、#20 玉井の3Pシュートなどで得点するも、福岡大#6 松尾、#23 森本のバスケットカウントなどでなかなか点差を縮めることはできず43-39、福岡大リードで前半終了。

第3ピリオド

セットプレイから確実に1本狙う福岡大は#17 丹を中心に前半の流れそのまま着実に相手を突き放していく。対する東海大はアーリーオフェンスを展開し、#21 松井、#13 久保のインサイドプレイで攻撃を組み立て少しでも追いつこうと奮闘する。流れを呼び止めたい東海大は残り1:53 後半1回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後、相手のシュートを抑え、東海大#13 久保が得点し、63-56 拮抗したゲームが続く中、第3ピリオド終了。

第4ピリオド

両チーム果敢に攻めるもなかなかシュートが決まらない苦しい時間が続く中、東海大#9 清辻、#13 久保がバスケットカウントをもらいチームに勢いをつけ、点差を4点まで縮める。一方福岡大は#17 丹、#23 森本が安定したシュートで簡単に相手に流れは渡さない。中盤、ゴールに向かうも、最後を決めきることができず得点に繋がらない東海大は残り3:15 タイムアウトを請求。タイムアウト明け#9 清辻がドライブから得点するも、最後まで福岡大の勢いを止めることはできず87-73で福岡大が勝利を収めた。